

【デジタル変革を支えるモダナイゼーションを“体験”する】 Application Modernization Labのご紹介

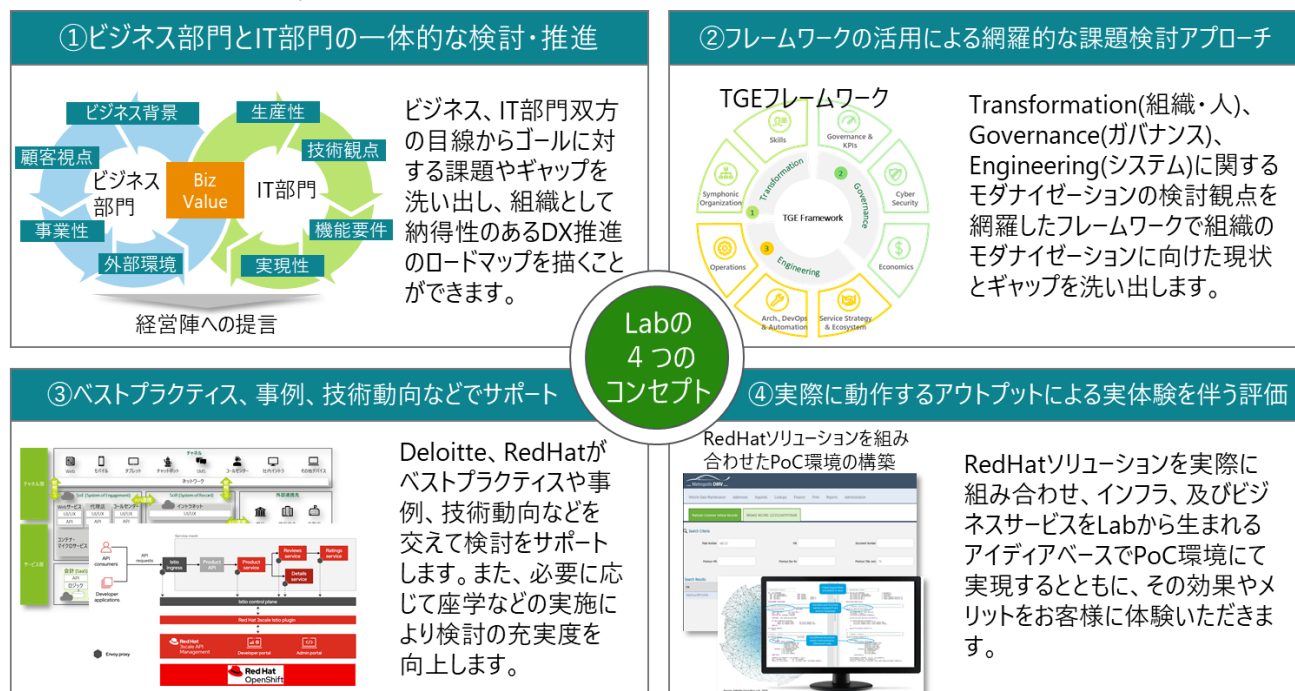
Application Modernization Lab とは

日本国内では95%の企業がDXにまったく取り組んでいないか、取り組み始めた段階にあります*1。その理由として、経営層の認識不足といった組織・カルチャーの要因もあるが、レガシー化が進んでいるコアシステムの功罪によるものが大きいと考えられます。そこで本Labは、デジタルトランスフォーメーションによるビジネス変革の前提となる「レガシー脱却」という漠然としたテーマに対して、モダナイゼーションの必要性を深掘し、その効果を体感してもらうためのワークショップ型のサービスを提供します。



本Labのコンセプト

検討を効率的に進めるためのフレームワークや体験型の環境を活用し、ビジネス・IT部門が一体的にモダナイゼーションを推進・評価することで組織として納得感のあるロードマップを描きます。



本Labの目的・ゴール

「組織・人」、「ガバナンス」、「システム」の3つの観点から、貴社の現状(AsIs)を見つめ直し、DXを推進し実現する姿(ToBe)を描くことを目的としています。



目的

組織・人、ガバナンス、システムそれぞれの観点から現状を見つめなおし、DX推進に向けた目指すべき姿とその実現に向けたロードマップを明確化する



ゴール

- ・自社にとってのDX推進、モダナイズの必要性を体感する
- ・目指すべきToBe像とその実現にむけたロードマップを明確にする



対象者

- ・DX推進に向けた自社ビジネスのモダナイズを実施したい方
- ・DX推進を実施したいが何を実施すべきか、何から手を付けるべきかお悩みの方



想定参加者

- ・ビジネス部門のリーダー、担当者
- ・IT企画、システム運用などシステム部門のリーダー、担当者
- ・DX構想立案やデジタル推進などの部門のリーダー、担当者



期間

約2か月～3か月
※開催期間は目的やご相談に応じて調整

本Labの実施概要

約2～3ヶ月間で標準的なLabメニューの実施を通して、モダナイゼーションのメリットを体感し、モダナイゼーションの実現に向けた実行計画を明確にします。

Ph.1 Basic : Clarify issues & design operation model



Act1. Discover

1-1. 現状の可視化

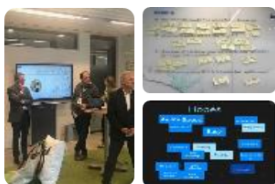
- ・ 現状の課題感 (Transformation、Governance、Engineering (TGE) の観点)を確認し、現状と目標のギャップを明確にします

1-2. 阻害要因の確認

- ・ 課題を深掘り、対応の優先度を設定します

1-3. ハイレベルロードマップの作成

- ・ 1-2の結果に基づき、ハイレベルなロードマップと到達点を定義します



Act2. Design

2-1. 技術要素とビジネス効果の理解

- ・ DXを実現するうえでの技術要素とビジネスへの効果を理解し、目指すべきアーキテクチャの論理構成を検討します

2-2. PoCの範囲整理

- ・ Ph.2のPoCで体験できるソリューションを理解し、PoCの範囲を決定し簡易的な要件定義を実施します



Ph.2 Advanced : Provisioning & Evaluation



Act3. Ideate & Provisioning

3-1. PoCシステムの設計

- ・ PoC対象とするシステムのアーキテクチャを設計し実装に向けた基本設計・詳細設計を行います

3-2. インフラ構築

- ・ クラウド上にPoC環境を構築し体験するソリューションを導入します

3-3. 実装

- ・ デモプログラムを実装し、ソリューション導入の効果を体験します



Act4. Evaluation & Planning

4-1. 評価

- ・ PoCから見えた課題・リスクを整理のうえ、メリット/デメリットおよび実現可能性を評価します

4-2. 計画策定

- ・ ソリューションの導入に向けたアクションプランを検討します
- ・ 1-3で作成したハイレベルロードマップを更新します



3～6週間程度

8週間程度

※実際の取り組み内容は事前にクライアントと協議の上でテラリングします

Deloitte.

デロイトトーマツ

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社

Cloud Division

〒100-8361 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング

Tel 03-5220-8600 Fax 03-5220-8601

E-mail: appmod_and_migration@tohmatsumo.co.jp

デロイトトーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイトトーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツ コンサルティング合同会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイトトーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイトトーマツグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市以上に1万5千名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイトトウシュトーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務などに関する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能な継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をバース（存在理由）として標榜するデロイトの約345,000名のプロフェッショナルの活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイトトウシュトーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTLならびに各メンバーファームおよびそれらの関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。

Member of

Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2022. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001